

100th 大宮盆栽村100周年

小さな大自然・盆栽を見てみよう

盆栽を見る時は、大自然の情景をイメージしてみよう。

ぜひ木の正面に立って“下から”眺めてみてください。

樹齢数百年に及ぶこともある盆栽。一見小さな木から巨木の迫力を感じられたら、それが盆栽の世界への入り口です。

Q&A

盆栽と鉢植えの違いは？
鉢に木を植えているのは同じ。盆栽は幹・枝・葉を小さくし、きれいに手入れをしています。

押さえておきたい

盆栽のきほん

枝

輪郭のバランス良く、幹がよく見えるように剪定します

幹

大木のような迫力を生み出す幹は見どころ

根張り

土をしっかり掴む強い生命力ある根

太くたくましい幹が根元から大きく折れ曲がり、幾重にも屈曲しながら力強く立ち上がる、重厚感ある一点です。



大宮盆栽美術館 盆栽技師 中村さん・小棚さん

黒松
「獅子の舞」
推定樹齢:100年
高さ:約100cm
(大宮盆栽美術館蔵)

大宮盆栽美術館



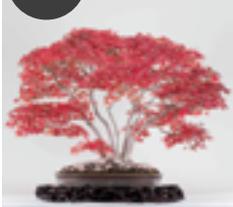
3月21日(金)
リニューアル
オープン

大宮盆栽村に近接して設けられた、世界初の公立の盆栽美術館。盆栽はもちろん、盆器(植木鉢)や鑑賞用の水石、盆栽が描かれた浮世絵などの展示、盆栽の文化を伝えるための講座などを開催。

《所在》北区土呂町2-24-3
《問合せ》☎780・2091
☎668・2323
《休館日》木曜日
※3月20日祝まで庭園改修のため閉館中



モミジ



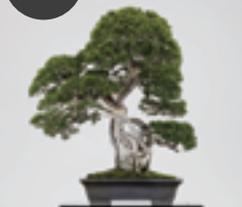
雑木【ぞうき】

松柏以外の樹木。紅葉が美しいモミジなどのほか、梅などの「花もの盆栽」、カリンなど果実をつける「実もの盆栽」があります。

カリン



真柏



松柏【しょうはく】

常に緑色の葉を茂らせる針葉樹。松と真柏の2つを合わせて「松柏」と呼びます。

樹木の種類もいろいろ

100周年! 大宮盆栽村

大宮盆栽村とは

大宮公園の北側にある、盆栽園が多く集まる地域です。

大正12年(1923年)の関東大震災で被災した東京の盆栽業者が大宮に移住したことで生まれ、最盛期には30以上の盆栽園がありました。その後、後継者不足等の影響により盆栽園は減少しましたが、現在も盆栽の伝統を守り続けており、世界中から盆栽愛好家が訪れています。また、例年5月には、「大盆栽まつり」が開催され、多くの人にぎわいます。

そして令和7年(2025年)4月、大宮盆栽村は開村100周年を迎えます。

100周年について詳しくはこちら▶



大宮盆栽村について詳しくはこちら▶



大宮盆栽村 ACCESS MAP

盆栽園に行ってみよう

《所在》北區盆栽町
《定休日》木曜日

盆栽園とは

園内で盆栽を多く管理する庭園です。園の人がいれば、自由に観覧できます。

※入園時には一言挨拶を。
※写真撮影はできません。

圧倒的な品揃えの名園

まんせいえん
蔓青園



大宮盆栽村で最も古くからある、日本を代表する名園。さまざまな樹種が鑑賞できます。



盆栽教室を開講して55年



看板猫の茶々丸とふう

とうじゅえん
藤樹園



初心者の方でも気軽に盆栽を楽しむよう、中品盆栽を多数手掛けています。盆栽教室で盆栽を学ぶことができます。

雑木盆栽のパイオニア

ふようえん
芙蓉園



雑木盆栽を中心に、花ものや実ものなどの盆栽が数多く並びます。

創業江戸嘉永年間

せいこうえん
清香園



伝統の技を受け継ぎながら、彩花盆栽という新しいスタイルを提案。彩花盆栽教室は生徒の大半が女性で、幅広く楽しまれています。

自然の美しさをそのまま形に

きゅうかえん
九霞園



針金成形をせずに自然本来の姿を引き出す盆栽を手掛けています。

日本文化である陶芸と盆栽の融合

しょうせつえん
松雪園

(北區東大成町)



大宮生まれの園主が開園。陶芸と盆栽を融合させた教室を開講しています。

指先サイズの“豆盆栽”

ぼんさいおの
盆栽大野

(見沼区片柳)



盆栽展や植木市にて、小品盆栽や豆盆栽、山野草、鉢などを販売。

※盆栽大野への訪問は事前に予約が必要です。
詳しくは、盆栽大野(☎090・2446・4403)へ。

今月の市報さいたまプラス

育ててみよう!
My Bonsai!

